【 記 入 例 】

様式第１６号(第35条関係)

(1)
指定可燃物の 貯　蔵 / 取扱い 廃止届出書

(2) 年　月　日

(3)
(あて先)千葉市消防長又は千葉市　　消防署長

(4) 届出者

住　所

氏　名

連絡先電話番号

―　　―

連絡先電子メールアドレス

@

(1)
千葉市火災予防条例第46条第2項の規定により指定可燃物の 貯　蔵 / 取扱い の廃止を届け出ます。

貯蔵取扱所	所在地	(5)	
	名称	(6)	
届出年月日・番号		(7)	年　月　日・第　号
品名・最大数量		(8) kg / m³	条例別表数量の (9) 倍
廃止年月日		(10)	年　月　日
廃止の理由		(11)	

※ 受付欄	※ 経過欄

備考　1　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番としてください。
2　届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。
3　※印欄は、記入しないでください。

【 記 入 例 】

項目	記入要領
(1)届出区分	届出に係る区分以外を横線で消します。
(2)年月日	実際に提出する年月日(和暦)を記入します。
(3)宛先	貯蔵し、又は取り扱う場所を管轄する消防署長宛てとし、「千葉市消防長又は」を横線で消します。 中央区 → 千葉市中央消防署長　花見川区 → 千葉市花見川消防署長 稲毛区 → 千葉市稲毛消防署長　若葉区　→ 千葉市若葉消防署長 緑　区 → 千葉市緑消防署長　美浜区　→ 千葉市美浜消防署長 ※石油コンビナート等災害防止法における特定事業所が届出する場合は、千葉市消防長宛てとし、「千葉市　消防署長」を横線で消します。
(4)届出者	貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、主たる事業所の所在地、法人名称及び代表者の職・氏名を記入してください。
(5)所在地	貯蔵又は取扱いの場所の所在地を記入します。
(6)名称	貯蔵又は取扱いの場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。
(7)届出年月日・番号	貯蔵・取扱い開始年月日及び届出番号を記入します。
(8)品名・最大数量	届出している指定可燃物の品名及び最大数量を記入します。
(9)指定数量の倍数	届出している倍数を記入します。
(10)廃止年月日	廃止した年月日を記入します。
(11)廃止理由	廃止に至った理由を記入します。 【例】・老朽化により廃棄処分するため。 ・業務縮小のため。

※指定可燃物の貯蔵・取扱いを開始する際に届出をした「指定可燃物の貯蔵・取扱い（変更）届出書」の副本を添付してください。